

令和8年度 宿泊税使途の主な取組（案）について

使途の考え方

- 宿泊税は、熊本市観光マーケティング戦略に基づく事業に優先順位を設けて充当する
- 熊本市への来訪や滞在の促進と、旅行者の満足度向上を図る観点に留意し、観光資源の魅力づくり、旅行者に優しい滞在環境づくり、誘客プロモーションなどの新規事業や既存事業の拡充を中心に充当する

～ 熊本市観光マーケティング戦略の4つの基本方針 ～

【基本方針1】
世界に選ばれる観光都市・熊本の創造



【基本方針2】
訪れる人にやさしい滞在環境の構築



【基本方針3】
強みをいかした戦略的な誘客促進



【基本方針4】
観光振興を通じた熊本市の活性化



令和7年（2025年）9月
熊本市経済観光局観光交流部 観光政策課

令和8年度 宿泊税使途の主な取組（案）

【基本方針1】世界に選ばれる観光都市・熊本の創造（現状・課題）

- 熊本城における夜間イベント等の実施によりR6年の入園者は増加。今後、更なる入園者の増加を図るため、文化観光資源としてのさらなる活用や復旧過程を含めた情報発信、さらには猛暑対策などの取組が必要。
- 「世界に誇る地下水都市」として認知されつつあるものの観光資源として活用するため、水関連イベントの開催や環境整備などに取り組む必要がある。
- 歴史背景を踏まえた親和性のあるストーリー化などにより、観光客の興味を引きつける魅力創出が必要。
- 夜間や早朝も楽しめる本市ならではの観光素材の発掘や高付加価値な観光コンテンツの造成等が必要。

【基本方針1 KPIの進捗状況】

指標	基準値	R6実績	目標値（R9(2027)）	目標値（R13(2031)）
熊本城入園者数	1,303,929人（R5年）	1,418,105人【上昇↑】	1,660,000人	1,800,000人
中心市街地の歩行者通行量	662,742人（R5年度）	668,766人【上昇↑】	812,000人	829,000人
観光客の推奨意向	43.1%（R5年）	45.6%【上昇↑】	50%	60%

R8 宿泊税使途の主な取組（案）

①熊本城の魅力の最大化や、水資源の磨き上げ等を通じた魅力創出

- ・ 熊本城周辺を含めた案内サイン整備や城内へのミスト設備設置による盛夏対策等
※別途、熊本地震10年事業として通年で熊本城の魅力を発信（9月補正予算計上）
- ・ 本市の水の魅力に触れられる「親水施設」「熊本水遺産」の磨き上げや植木温泉のブランディング等

②歴史文化のストーリー化による回遊性向上

- ・ 漱石来熊130周年に関連したイベントの開催や関連施設の整備など、本市とゆかりのある歴史上の人物などを活用した取組等

③中心市街地のにぎわい創出、ニューツーリズムの推進

- ・ 昼夜楽しめるイベントの開催や本市でしか体験できない高付加価値な観光コンテンツの造成等

【基本方針2】訪れる人にやさしい滞在環境の構築(現状・課題)

- R6年の延べ宿泊者数はR13の目標値を大きく超える過去最高値となる約402万人を記録。特に外国人観光客は、延べ宿泊者数が89万人(前年比205%)となり、過去最高を記録した昨年から倍増し、観光案内サインの多言語対応などインバウンドの受入れ環境の強化が急務。
- 観光客の増加に伴う熊本駅から街なかに向かう市電の積み残しへの対応や熊本城周辺を含む2次交通の充実が必要。
- 旅行者の情報収集方法やニーズの多様化への対応のため、旅マエ、旅ナカでの観光情報・案内機能の充実が必要。

【基本方針2 KPIの進捗状況】

指標	基準値	R6実績	目標値 (R9(2027))	目標値 (R13(2031))
延べ宿泊者数	2,819,249人 (R1年)	4,023,456人【上昇↑】	3,300,000人	3,600,000人
延べ宿泊者数 (国内客)	2,476,600人 (R1年)	3,133,840人【上昇↑】	2,700,000人	2,800,000人
延べ宿泊者数 (海外客)	342,649人 (R1年)	889,616人【上昇↑】	600,000人	800,000人
観光客の満足度	62.5% (R5年)	68.5%【上昇↑】	70%	80%

R8 宿泊税使途の主な取組 (案)

①急増する外国人観光客に対応した観光案内サイン等の多言語対応の充実

- ・多言語観光案内サイン等のさらなる充実や道路案内標識への観光情報の掲載等

②交通サービスの利便性の向上

- ・「手ぶら」による快適な移動を提供するための手荷物配送サービスや観光施設周辺のバス停ベンチの整備等
- ・熊本城周辺や霊巖洞をはじめとした西の観光地の周遊促進のための二次交通の充実等

③観光webサイト等のリニューアルによる観光情報・案内機能の強化

- ・本市観光webサイトをはじめ、熊本城公式HPなど関連サイトを含めたリニューアル等

④歩いて楽しめる歩行空間の整備

- ・観光施設周辺における歩道の美装化や段差解消等

【基本方針3】強みをいかした戦略的な誘客促進(現状・課題)

- R 6年の観光入込数は約630万人と過去最高を記録し、外国人観光客の入込数は139.2万人（前年比201.7%）とはじめて100万人を突破。
- 観光客へのアンケートや公共交通機関等の利用状況、人流データなどを取得し、本市観光動向の把握と分析に取り組んでおり、今後は観光消費額の増加に向け、消費動向や消費単価など新たなデータの収集と分析に取り組む必要がある。
- 他都市との観光・MICE市場における競争が過熱する中、市場調査や分析の強化を図るとともに、MICE開催時の受入環境の充実や本市にしかないMICEの魅力の創造に取り組む必要がある。

【基本方針3 KPIの進捗状況】

指標	基準値	R 6実績	目標値 (R9(2027))	目標値 (R13(2031))
観光客入込数	6,014,000人 (R1年)	6,304,582人【上昇↑】	6,500,000人	7,000,000人
コンベンション参加者数	139,053人 (R1年)	162,197人【上昇↑】	170,000人	190,000人
観光客の再訪意欲	63.4% (R5年)	65.1%【上昇↑】	70%	80%

R 8 宿泊税使途の主な取組 (案)

①マーケットリサーチの充実

- ・国内外の観光客の消費動向を把握するためのキャッシュレスデータの収集、分析等

②海外市場へのプロモーションの強化

- ・ターゲット市場で主な情報源となっている海外主要旅行WEBサイトを通じた市場単位による効果的なプロモーション等

③戦略的なMICE誘致

- ・MICE開催状況等のデータ分析に基づく、国際会議等の誘致推進体制の強化及び開催支援制度の拡充等

④教育旅行の誘致促進に向けた助成制度の充実

- ・教育旅行の誘致促進のため、県と連携した新たな助成制度の創設等

【基本方針4】観光振興を通じた熊本市の活性化(現状・課題)

- 観光産業における人手不足、また急増する外国人観光客へ対応するため、宿泊施設におけるデジタル化や受入れ環境の強化等に取り組む必要がある。
- 観光産業における担い手づくりや、くまもとの伝統文化（肥後六花や流鏝馬など）の後継者育成に取り組む必要がある。

【基本方針4 KPIの進捗状況】

指標	基準値	R 6実績	目標値 (R9(2027))	目標値 (R13(2031))
観光消費単価（国内宿泊客）	19,069円/人・日（R1年）	20,447円/人・日【上昇↑】	21,000円/人・日	23,000円/人・日
観光消費単価（海外宿泊客）	33,305円/人・日（R1年）	35,714円/人・日【上昇↑】	37,000円/人・日	40,000円/人・日
観光振興の取組が地域経済の活性化や市民生活の向上に役立っていると感じる市民の割合	57.3%（R5年）	54.3%【減少↓】	65%	70%
観光振興の取組が観光資源の保全、継承に役立っていると感じる市民の割合	53.0%（R5年）	53.9%【上昇↑】	60%	70%

R 8 宿泊税使途の主な取組（案）

①観光産業の担い手づくり

- ・観光関連事業を対象とした観光人材育成講座等

②観光サービスの高付加価値化や生産性の向上

- ・宿泊事業者が取り組む外国人観光客の受入環境強化やデジタル化等への補助等

③観光資源の保全、継承への市民意識の醸成

- ・肥後細川文化から生まれた伝統芸能の保存継承やくまもとの伝統文化の後継者育成等